



# 大正だより

令和6年5月31日  
横浜市立大正小学校

電話:045-851-0755 FAX:045-851-2093

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/taisho/>

めで みる も  
芽が出てる 見てて、ジョウロを 持ってくる

校長 神野 滋

校庭の花壇では、3年生の子どもたちがひまわりの種をまき、お世話が始まりました。数日後、黒い土に小さな緑色の点が見えました。「あ、芽が出てる。」「ほんとだ。」と驚きと喜びの声。さっそく、流し場にかけてあるジョウロを取りに走り出します。やさしく水をあげて、成長する様子を観察できるといいですね。

さて、昨年度も行っていましたが、朝会では、私の話のあと、子どもたちに質問をして、タブレットで答えてもらう取組をしています。今回は、子どもたちにこんな話をしたあと、質問をしました。「ケンカが起きたらどうする」という話です。

健一さんたちは、休み時間におにごっこをしていました。おにの健一さんは、健太さんにタッチしました。すると健太さんは、「今は、タッチしたことにならないよ。だって、ここは、コンクリートだから、先生が遊んではいけないと言っているところだから。ここでタッチしても、セーフだよ。」と言いました。健一さんは、「それは、ずるいよ。コンクリートの所に逃げたのは、君だろ。それなのに捕まったら、セーフなんてずるい。アウトだよ。」健太さんは、「いや、ここは、危ないから遊んでは、いけないのだから、セーフ。」健一さんは、「いや、アウト。」健一さんは、「セーフ。」と言い、ついにけんかになってしまいました。先生が来て、話を聞いても、ふたりとも同じことを言うばかりで、解決しません。でも、先生が「では、明日から鬼ごっこはやめる？」と聞くと、ふたりとも、「やめない。おにごっこはやりたい。」と言います。

さて、ここで問題です。このふたりは、このあと、どうすればいいのでしょうか。健一さんや健太さんになったつもりでタブレットに答えてください。

朝会が終わると、子どもたちの回答が次々と私のタブレットに届きます。各自が自分で考えた名案がずらりと並びます。次の朝会で何人かの回答を紹介する予定ですが、ここでは、どんな答えが多かったか、集計してみました。「お互いに謝る」や「じゃんけんで決める」という答えもありましたが、一番多かったのは、「話し合ってからまた始める。」というものでした。特に高学年の子どもたちがそういう考えを持っていました。とても頼もしく感じました。これからも、けんかやめ事が起きたら、お互いしっかりと対話することで解決を目指してほしいと思います。

## ケンカが起きたらどうする

